

秋の旅行会「日高線でアイヌ文化とむかわ竜を訪ねる旅」

11月3日（日）に秋の旅行会＜日高線でアイヌ文化とむかわ竜を訪ねる旅＞を、会員、ご家族を含む24名の参加で実施しました。昨年9月6日に発生した胆振東部地震より1年が経過し、復興ししやも祭やら、アイヌ文化遺跡やら、今話題のむかわ竜まで盛りだくさんのイベントで、奥様方を交え、楽しい1日を過ごすことができました。



朝8時に札幌駅に集合。貸切バスに乗りし高速経由で苫小牧駅へ、日高線に乗りして鶴川駅（この先、日高線は4年前の高波被害で現在バス代行）へ、運よく復興ししやも祭当日であり、車両もローカル気動車を改造した「花の恵み」号で鶴川まで30分のローカル線の旅を楽しみました。祭イベント会場ではしっかり並んでししやも汁に舌鼓をうたれるご夫婦もいらっしゃいました。

ここからはバスで沙流川沿いをさかのぼり、平取町二風谷アイヌ文化博物館へ。学芸員の方の案内でアイヌの文化をしっかりと学習しました。昼食は近くのびらとり温泉「ゆから」でびらとり牛を堪能して、恒例の参加メンバー自己紹介が行われ、懇親を深めました。昼食会の後は、バスで一山越えてむかわ町立穂別博物館へ。ここで発掘された海竜など古代の化石を鑑賞しました。残念ながら「むかわ竜」は現在道外にあって見られないとのことでしたが、レプリカが近くの公民館に展示してあるとのこと、健脚の方は10分ほどの道を徒歩で往復し、しっかり「むかわ竜」とご対面できたようです。

紅葉の終わりの日高路を、旬のししやもとびらとり牛に舌鼓をうちながら、アイヌ文化から古代竜までを堪能しつつ、会員・家族の懇親を深める良い一日を過ごすことができました。ご参加いただいた会員、ご家族の皆様に感謝します。

（文責・小山）